

# 保育士のコミュニケーション能力の育成に関する検討

## Consideration of Communication Skills Training of Nursery Teachers

有沢孝治

Koji ARISAWA

東海大学

TOKAI UNIVERSITY

**Key words** : 保育士支援, コミュニケーション能力の育成, 研修評価

### 目的

近年の保育士には、子どもとの関係に加えて、同僚との協働、保護者支援、小学校との連携などが求められている。これらをスムーズに展開していく方法として保育士のコミュニケーション能力の育成が挙げられる。西田(2013)<sup>1)</sup>は保育士にとっての社会的・職業的自立の基盤技能・態度で、コミュニケーションスキル、協調性、基本的なマナーなどに関する項目の重要度が高いと指摘しているが、この点からも保育士のコミュニケーション能力の育成の必要性はうかがえる。コミュニケーション能力を育成する手段には研修が挙げられるが、その研修を保育士がどのように評価するかで、その効果は決まると考える。そこで本研究では、有沢(2012)<sup>2)</sup>を元に設計した傾聴を中心としたコミュニケーション能力育成の研修プログラム(以下、COPとする)を実践し、コミュニケーション行動の確認・改善と職務への有用性という観点から作成されたRSCCTP(有沢2016)<sup>3)</sup>による評価分析を行う。その上で今後の保育士を対象としたコミュニケーション能力の育成のあり方について考察する。

### 方法

A保育関連機関より依頼を受け、保育士44名(平均年齢40.8歳、平均職務経験16.8年、すべて女性)を対象にCOPを行った。COP終了後に研究への同意が得られた参加者(44名)にフェイスシート(性別、年齢、職種、職務経験年数)、RSCCTP(2因子、9項目、5件法)、満足度(5件法)、自由記述による学びや気づきの調査を行った。分析にはエクセル統計2012、SPSS ver. 23を用いた。COPの内容のポイントは、非言語表現(対人的距離、対人位置など)の演習の後、3名一組で「聴くこと」のロールプレイを行うというものである。

### 結果

RSCCTPの2因子である「コミュニケーション行動確認・改善」(以下、「Co確認・改善」とする:5.0~25.0点で推移、中点は15.0点、高得点ほど高評価)と「職務への有用性」(4.0点~20.0点で推移、中点は12.0点、高得点ほど高評価)の平均得点を見るとCo行動確認・改善では21.9(SD=2.47)、職務への有用性では17.9(SD=2.04)と高得点であった。また、2つの因子の関係

をみると高い相関関係( $r=.63, p<.05$ )が得られた。

次にCOPの満足度に影響を与えている因子について若手(10年以下の職務経験:平均4.0年、21名)とベテラン(11年以上の職務経験:平均28.8年、21名)に分けて、従属変数を満足度とし、独立変数を2つの因子とした重回帰分析を行った。その結果、若手では「Co確認・改善」( $R^2=.63, \beta=.52, p<.05$ )が満足度に影響を与え、ベテランでは「職務への有用性」( $R^2=.56, \beta=.73, p<.01$ )が満足度に影響を与えていた。

次に自由記述の分析結果を示す。気づきや学びの記述率は100%であり、役立つことの記述率は93.2%であった。誰との関係で役に立つと考えたかをみると、「保護者」38.6%(17名)、「相手」22.7%(10名)、「子ども」18.2%(8名)であった。また、活用場面として「面談」18.2%(8名)、「質問」13.6%(6名)などが挙がっていた。

### 考察

結果から次のことが推測できる。①相関分析から参加者は「Co行動の確認・改善」が「職務への有用性」に関係すると考えていた。②満足度の重回帰分析から若手とベテランではCOPで得られる教育効果が異なる。③自由記述の分析からCOPから多くの参加者が学びや気づきを得て、仕事に活かせる体験をした。また、保護者対応で困難を抱えていた。

今後の保育士を対象としたコミュニケーション能力の育成のあり方として、①職務経験年数別で対応し、②若手には自分のコミュニケーション行動の良い点や課題が確認できる内容とし、ベテランには実務に活かせるより専門的で具体的な内容にすることで、③満足度が高まり、教育効果が上がると考える。④なお、プログラムで取り上げるテーマは「保護者」、「子ども」、「面談」が直近の問題をイメージしやすく、受け入れられやすいと考える。

### 文献

- 1) 西田明史 2013「幼稚園教諭・保育士に求められる社会的・職業的自立の基盤技能」『永原学園 西九州大学短期大学部紀要』第44号別冊, pp. 35-42
- 2) 有沢孝治 2012「保育士支援のための傾聴スキル育成プログラムの検討」『対人援助学会第4回大会ポスター発表抄録』  
<http://www.humanservices.jp/meeting/2012/1.pdf>
- 3) 有沢孝治 2016「職場におけるコミュニケーション能力の育成プログラムの実践とその評価尺度の作成—保育職を対象とした活動の分析—」『東海大学紀要文学部』第105輯, pp. 77-93